

栄養科より

あけましておめでとうございます

1/1

～お品書き～
赤飯
松風焼き
茶碗蒸し
合ます
正月饅頭

～栄養価～
エネルギー:623kcal
たんぱく質:28.5g
脂質 12.0g
炭水化物:86.3g
食塩相当量:2.7g

1/2

～お品書き～
ちらし寿司
餅しんじょ
キャベツと特製の磯辺和え
上用饅頭・漬

～栄養価～
エネルギー:564kcal
たんぱく質:23.8g
脂質 12.2g
炭水化物:90.2g

2022年

当院では左のような年賀状風の食札とともに、1月1日、1月2日にお正月の行事食を行いました。皆様の1日も早いご回復を祈り、今年も安心・安全な病院食を提供できるよう努めて参ります。

辻村外科病院 栄養科

新入職員紹介

新しい仲間です。
よろしくお願いします。



2021年7月1日入職
ケアスタッフ
相馬 愛実



2021年8月1日入職
連携室・社会福祉士
山盛 寛子



2021年8月1日入職
看護師
曾田 由美子



2021年8月16日入職
医事課・社会福祉士
橋本 恵子



2021年9月1日入職
看護師
市川 裕子



2021年10月1日入職
看護師
山田 美江

外来診療担当案内

		月	火	水	木	金	土
外科	午前		松波	院長 伊東		院長 梅木	院長 中内 (第2,3,4) 林(第1,5)
	午後	清水	院長 松波 花井(第3)	神尾		梅木	
整形外科	午前	中川 兒玉	早川(和) 安藤(月2回)	船橋 兒玉	中川 渡辺(裕)		鈴木
	午後	中川	兒玉	見松	中川 渡辺(裕)		
脳神経外科	午前		藤原	秋山	大場		
	午後					公文 加藤(月回)	
脳神経内科	午前	島					
	午後	村手					
循環器科	午前	西村			松橋		
	午後	高木	佐藤		松橋	上床	
内科	午前		浅田				早川(伸) (隔週)
	午後		浅田		渡邊(丈) (第2,4)		
呼吸器科	午前		北川	石沢 北川	北川	松田 北川	
	午後			北川	重康		
皮膚科	午前						
	午後		有馬			安田(澤)	
泌尿器科	午前					糠谷	
	午後						

医療法人 明和会 辻村外科病院

〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島20-1
Tel(0566)36-5200 Fax(0566)36-5561
<http://tsujimurageka-hp.com/>

発行日：2022年1月10日 発行者：辻村外科病院広報委員会

つじむら

第 3 2 号

基本理念

Smile&Harmony
～明るい笑顔と調和～

基本方針

- ・いつも明るく患者様の満足を常に考え、医業に専念します。
- ・地域に働く人々及びその御家族の幸せを第一に考え、信頼される調和のとれた病院を目指します。
- ・同じロマンを持つスタッフがー丸となり得られた成果を社会に還元し、医療の質向上に努めます。

患者様には以下の権利と責任があります。

- ・個人としてその人格を尊重され、適切な医療を平等に受ける権利があります。
- ・病名、病状、予後、検査と治療の内容と危険性、薬の効果と副作用などについて十分に理解できるまで説明を受ける権利があります。
- ・治療法など自らの意思で選択する権利があります。
- ・個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
- ・これらの権利を守るため、患者様は医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。



新年あけましておめでとうございます。
日頃は病院運営にあたり格別なご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
昨年は、2020東京オリンピック・パラリンピックが無観客で行われ、多くの日本人選手の華々しい活躍にも、残念ながら会場に応援に行くことが出来ず、テレビ等での観戦となりましたが、選手の活躍に多くの人たちが勇気づけられた大会となった様に思われます。

新型コロナワクチンについて、当院においては、昨年4月より医療従事者優先接種からスタートし、その後多くの地域の皆さまに接種を行うことができました。微力ながら地域の皆さまの健康を守るお手伝いができたのではないかと思います。ワクチンの予防接種実施の風景等は今回の広報誌の中面にご紹介致しております。ぜひご覧いただければ幸いです。

さて今年も、コロナの終息が見えない中での新年を迎えることになりましたが、4月には2年ごとに実施される診療報酬改定の年となります。今回の診療報酬の改定も厳しいものとなることが予想され一段と厳しい経営状況が続くと思われますので、皆様には、今後ともよろしくご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

令和4年1月

医療法人 明和会 辻村外科病院

院長 辻村 亨

新型コロナワクチン接種、当院の1年を振り返る

現在、新型コロナウイルス感染症第5波のピークが過ぎ緊急事態宣言が解除され、少し落ち着きを取り戻した。この夏は、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されたが、ほとんどの競技が無観客試合となりとても残念な思いをした。さて、年の瀬も近づき当院でこの1年何が出来たか時系列で振り返ってみた。

2020年末、新型コロナワクチン接種が可能となる事を知り当院での対応について検討した。まずは、ワクチン接種医療機関へ手上げを行うか否か。接種施設となるには自施設職員への接種数がある程度必要となる。そのため職員へのアンケート調査を行った。結果は接種希望、保留（様子をみたい）、接種希望しないが3:4:3程度の分布となった。接種希望と保留で7割となったため職員への接種を円滑に行うためにも行政に対し正式に手上げた。

2021年1月、接種施設（連携型）となることが決定。

2月、自施設接種人数の確定報告が必要となるため、2月18日、再度職員への接種希望調査（希望、希望しないの2択）を行うこととした。最終調査に先駆けてオンラインでのコロナワクチン研修会を全職員に案内するなど啓蒙活動を行った。最終調査結果は、接種希望が約85%、接種希望しないが約15%（妊娠等含む）となった。また予診票の形式やワクチン接種円滑化システム（V-SYS）の概要などの情報が入り始めた。当初、職員へは3月に接種可能との見込みであった。しかし、3月中にはワクチン入荷の目処が立たず職員接種は4月となることが確定した。V-SYSや請求方法などの具体的な内容が分かり始め、様々な事務的手続きの準備を始めた。

4月13日、病院職員全体でワクチン接種の予行演習を行った。

4月19日、当院職員より接種を開始した。接種日程の割り振り、副反応と勤務の問題、接種の訓練など打ち合わせを重ねた。

4月26日、近隣医療機関の医療従事者接種を開始した。予約をどうか、どのように案内誘導するか打ち合わせを重ねた。予め予約表を作成し、それを埋めていく形式を採用した。また、出入口を分け、一方通行で案内誘導する原案を完成させた。



人員を減らし、案内表示で対応した。



一時、電話が鳴り止まず
医事課全員交代で対応した。

5月17日、高齢者優先接種の予約開始。これに向けて予約をどのように取っていくかの打ち合わせを重ね、電子カルテの予約システムを活用する運用方法に決定した。電話予約にかかる時間を少しでも短くするために説明する内容を吟味し、最小限にまとめたマニュアルを用意した。また予約のために窓口で並んでしまった際の対応なども検討した。いざ予約開始となると想定を超えた問い合わせに電話回線がパンク状態となった。

5月24日、高齢者優先接種開始。高齢者の方々をどう誘導するか打ち合わせを重ねた。問診票の不備なども懸念されるので問診チェック体制を強化するなど案内誘導方法を改善、全体演習も行った。

6月25日、基礎疾患優先接種予約開始。予約に向けて何をもって基礎疾患とみなすのかなどを相談した。最終的にクーポン券は本人の申請をもって市が発行しており確認出来れば予約、接種を行うこととした。



検温、1回目は入口で、
2回目は対面で対応した。



バイアルから注射器へ、
薬局、看護部で対応した。

7月2日、高齢者施設、障害者施設従事者予約開始。こちらもクーポン券を確認出来れば予約、接種を行うこととした。

7月8日、一般予約開始。7/8:60～64歳、7/12:55～59歳、7/16:50～54歳、7/21:45～49歳、7/27:40～44歳、7/30:12～39歳と順次クーポンが発行されるため、再度予約殺到が予想され体制を整えた。また若い世代では副反応を警戒し解熱鎮痛剤を希望する方も増加が予想され、対応できる体制を事前に準備した。

まとめ

新型コロナワクチン接種について、めまぐるしく情報が交錯し現場での対応に苦渋した。私自身院長としての役割は、大筋を見立て見守ることにあつた。マラソンに例え、息切れしないよう計画実行した。本来なら午前診療終了後、一息つける時間帯に当院職員がチーム一丸となって対応してくれた。更に当初はワクチン接種がいつ終了出来るかわからず気が遠くなった。それでも現場のスタッフは地道に継続してくれた。結果、開始から10月末までに6762回接種出来た。

1. 予約体制について

近隣医療機関の接種では一覧表を作成して予約、それ以降の予約では電子カルテ予約システムを上手く活用できた。電話予約案内をスムーズに行うため、説明内容等をまとめたマニュアルを用意し、一件あたりの時間短縮を心掛けた。実際に高齢者接種予約での電話パニックなどを経験しながらマニュアルを日々更新することでスムーズに予約が可能となった。キャンセルリストを活用し当日キャンセルなどへの対応もスムーズでワクチン破棄率を極めて低く抑えた。

2. 接種体制について

当院独自に考えた案内の流れに沿って実際の接種を進めながら問題点を洗い出した。特に高齢者接種において想定外問題が多く発生したため、日々人員配置を大きく見直すなどしてスムーズな案内を行うことが出来た。各配置箇所のメンバーがその中において運用を工夫したこともスムーズな案内に大きく寄与した。当院オリジナルの接種指示箋がスムーズな案内に欠かせない要因であった。全部署をあげてワクチン接種体制を組み上げた。指示系統が混乱しないよう統括責任者を1名とし、問題があった際は責任者を中心に運用を検討し、各部署へ伝達出来たことがスムーズな案内に繋がった。

以上、道半ばではあるがここまでの道のりを振り返ってみた。手前味噌ではあるが、チームで考え前に進む素晴らしい経験ができた。この経験を生かし次の試練に向かって行きたい。

院長 辻村 享